

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次にステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスとしての意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	法人理念を基本に、グループホームの目標を示し、取り組んでいます。	グループホーム独自の理念をかかげ施設内の見やすいところに掲示、スタッフ一同理念の共有、理解し日々のケアに取り組まれています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	散歩や買い物時に地域の方との挨拶、系列の保育園や地域の学校等の相互訪問等行い、交流の機会を持っています。 ※コロナ感染予防の為、交流は控えています。	散歩のときや、系列の保育園、地域の方々と交流の機会をもてるよう感染対策をし、少しずつ外出の機会をもったりし、交流の場を増やしている様取り組まれています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	オレンジカフェ（認知症カフェ）等の開催で、理解や支援につなげられるよう取り組んでいます。 ※コロナ感染予防の為、カフェの開催は控えています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議参加者から意見等いただき、その都度、検討・改善を行っています。 ※コロナ感染予防の為、会議資料を参加者に郵送。何か確認事項あれば、連絡いただくようにしています。	電話での意見交換や書面での要望をききとり、サービスに反映されています。感染対策を実施しながら対面での運営推進会議を再開できるよう検討されています。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら協力関係を築くように取り組んでいる。	コロナ感染予防等の情報や、制度等のことでも、その都度確認し、ご指導いただいています。	日頃から電話にて些細なことでも相談、助言を受けておられます。相談事やそれに対して一つずつ準備、解決されています。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束しないケアに取り組んでいる	玄関の施錠はやむを得ず行っていますが、その他の拘束は行っていません。	施設内研修での身体拘束への理解と各利用者に対して例をあげて職員間で勉強し理解をふかめ、日々の介護ケアに取り組まれています。玄関はやむおえず施錠していますが、ホールやユニット同士はフリーで自由に行き来できるようにされています。	
7		○虐待防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待について、ケア会議、ミーティング、内部研修等で機会を設け、虐待防止の徹底に努めています。		

8	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>資料等で制度について確認し、ご家族、関係者等と相談し、支援を行っています。</p>		
9	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約の際、グループホームでの対応の限界、ご退去いただく条件もお話し、退居後について不安に思われないう説明を行い、その都度、質問にもお答えし、納得してご利用いただけるよう対応し</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ご家族には、電話や来館時に話を伺うようにしています。また、重要事項説明書にも苦情受付窓口を記載しております。</p>	<p>ご家族とは面会時や、お電話にて要望や意見交換を行なっております。また、利用者の方々とは日々の生活のなかで気軽に話し合える関係性作りに努められています。</p>
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、それらを反映させている</p>	<p>会議やミーティングで現場からの意見を聞く機会を設け、日常的に対応や、業務内容に反映しています。</p>	<p>会議やミーティングのとき、日々の話し合いの中で意見交換や聞き取りを密にされておられます。また、会議等参加できない際には書面にて申し送り、意見の共通理解に努められています。</p>
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>人事考課を行い、面接等で職員から意見を聞き、指導方法の検討、内容の充実に取り組んでいます。</p>	
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際の力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>施設内研修や必要に応じて外部研修等に参加しています。</p>	
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>法人内の施設間での情報交換や、今後、近隣の施設との交流を行えるよう取り組んでいければと考えています。</p>	

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
15	○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご入居前に可能な限り情報を収集し、ご本人に安心して過ごしいただけるよう環境を整えています。	
16	○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご家族からの相談には丁寧にお応えしています。入所後のご様子や、その他、ご家族が不明に思われることにも、その都度、対応しています。	
17	○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	介護サービスを余りご存知でない方には各サービスの説明を行い、その他の選択肢等についても、ご説明させていただいています。	
18	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	できることについては可能な限りご自分で行っていたり、生活の中で役割をもっていただけるように支援しています。	
19	○本人と共に過ごし支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	今後は、行事に定期的にご参加いただけるよう、お声かけしていきます。	
20	8 ○馴染みの人や場と関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないうち、支援に努めている	面会も再開しており、お越しいただいた方に、またご訪問いただけるよう、お声かけさせていただいています。	同じ階にショートステイがあり、ご利用の方々との交流をされたり、感染対策を考慮しながら面会や外出を少しずつ実施されたりし、関係性を途切れないうち支援されています。
21	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご入居者の様子に合わせて、気持ちよくお過ごしいただける関係を築けるよう配慮しています。 また、職員も積極的に関わっています。	
22	○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後も、ご家族からの相談等あれば、その都度、対応させていただきます。	

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いやり意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人・ご家族の意向を尊重し、ご本人らしくお過ごしいただけるよう配慮しています。	ご利用者の日々の生活の中での要望や意向をくみ取り、尊重されています。また情報の共有をし、安心安全な生活が送れるようケアの実施に努められています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努める	入所前の面接、入所後のお話の中で、生活歴等伺い、支援に活かしています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ご利用者の様子を観察し、適切と思われる支援を行っています。また、能力に応じた役割をお持ちいただけるよう配慮しています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケア会議にて、ご本人の希望や様子、ご家族の意向等を考慮し、計画作成しています。	ご家族の意向や、ご本人の思いをくみ取り小さな事でも気付きを大切にしながら、介護計画に反映されています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	様子や気づき、対応等を記録し、必要事項はミーティングでも報告し、ユニット間でも情報共有しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスにとらわれない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	個人ごとに、その都度の状況に適した対応を考え取り組んでいます。また、各制度の活用も行っていきます。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の診療所や精神科医、歯科医の往診等医療面の支援や、法人系列の保育園、学校、住民との交流、支援をいただいています。		

30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ひかりの園診療所、提携歯科医院、精神科医の往診等の支援をお願いしています。また、かかりつけ医への通院等にご家族にも協力いただいています。	週2回ほどホーム内診療が可能です。また、以前からのかかりつけ医の受診や、緊急時などの対応も行なっています。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるよう支援している	看護師勤務時やひかりの園診療所と連携し、日常の健康管理、医療面での相談等、健康維持できるよう努めています。また、外部医院受診時には、情報提供を行い、日頃の様子を含め報告しています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	医療機関の地域連携室に受診の相談や入退院の情報等ご支援いただいています。また、早期の退院にもできる限り対応するよう努めています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や、終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご入園の際、グループホームでの対応が困難になられた場合、特養でのバックアップがあることを説明し、状態が変わられた時にはご相談させていただいています。終末期のケアについては現時点では看取りの対応ができておらず、医療機関へのご入院を、その都度、ご相談させていただいています。	今のところ、終末期までの対応は難しいですが、入所時から終末期について説明し、理解を得ています。また、次の医療機関などの紹介について相談、対応されています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	看護師からの指導や、応急手当講習を受講した職員より、伝達研修等を行い、各職員が対応できるよう努めていきます。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害時の取り組み、緊急連絡網を整備し、緊急時には特養職員等の支援等、協力を得られるようにしています。	地域的に考えられる災害に対して、対応方法を考えています。年に2回の消防訓練はもちろん台風や停電に対しても対策しています。備蓄品も法人と一緒に用意をしています。	

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	研修を行い、一人一人を尊重し、適切に対応するよう心がけています。	研修を実施され、マニュアルを作成しています。実際に丁寧な言葉使いで利用者の目線に合わせて対応されています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	意思表示のできる方は日常的・自発的にされています。意思表示が難しい方については、ケース会議やご家族への相談等で検討を行い、対応しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な1日の流れはありますが、起床・食事・入浴・外出等、ご本人の希望に可能な限り沿うよう支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご自分で可能な方には、ご自分で行っていただいています。支援が必要な方については、整容、衣装を適切に着用していただけるよう、その都度、支援を行っています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	季節に合った食事の提供や、定期的に施設内喫茶の実施等、お食事を楽しんでいただけるよう取り組んでいます。また、食器の片付け等、可能な方には一緒に行っていただいています。	ホーム内で調理された食事を管理栄養士と盛り付け、食事時間をゆっくりと楽しませていきます。また、片付けを職員と一緒にされたりおしぼりをたたんだりされています。	ご利用者の方々に食べたい、作ってみたいおやつ等聞き取り、好きな物を皆さんで一緒に手づくりし、楽しめる時間ができることを期待しています。
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士の作成したメニューで食事を提供しています。また、水分については、必ず飲んでいただけるようお茶の時間を設定し、数種類の飲み物を用意、提供しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	可能な方には、ご自分で、又は声かけし行っていただいています。ご自分では困難な方については、食後に介助を行っています。歯科医の定期的な健診も行っています。		

43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄パターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	記録を付け、できるだけご本人のリズムに合わせた介助を行っています。排便状況を確認し、体調に変化がないか注意しています。可能な限りトイレでの排泄を続けていただけるよう支援しています。	1人1人の排泄のリズムをしっかりと把握して声掛けや、場所などプライバシーを考えた対応をしています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	記録を付け排便状況を把握できるよう取り組んでいます。ご利用者には水分をしっかりと摂取していただき、必要に応じて薬を服用していただく等、便秘にならないよう注意しています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	基本的には入浴日を予定しています。ただ、希望や状態に応じて、入浴日を変更する等の対応は行っています。	週2回の入浴を楽しまれています。気分や体調により、入浴日の変更も可能です。また、入浴の方法も色々ありADLの変化にも対応されています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	フロアにソファ等用意し、ゆっくり休息していただけるよう対応しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や容量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	ご利用者の状態に応じて、ご本人にお渡しして自分で服用していただく方や、必要な方には職員が介助し、服薬を確認している方もおります。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯・掃除等、役割を持って職員と一緒に手伝っていただいたり、折り紙、脳トレ等、日課とされている方には、続けていただけるよう支援しています。		

49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している</p>	<p>定期的に外出の機会を持ち、季節を感じていただけるよう支援しています。コロナも落ち着いてきたので、定期的な散歩等も検討していきます。</p>	<p>コロナウイルスの関係で、外出がなかなか難しいこともありましたが、少しずつ日課であった散歩を再開しています。また、いつもユニット同士の交流が可能です。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>外出時等にお茶や買物をされます。管理の難しい方については、職員が支援しています。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>携帯電話をご家族が用意してくださっている方もおられます。電話をお持ちでなく、ご本人、ご家族が通話を希望される場合は、その都度、お電話をつながせていただいています。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>明るく、清潔な空間を維持できるよう心がけています。共用リビングではテレビ・音楽等を用意し、ご入居者に楽しんでいただけるよう努めています。</p>	<p>広いリビングは、やわらかい照明で落ち着いた空間です。季節を感じる作品の展示や1人でくつろぐことができる空間づくりの工夫もしています。大きな窓からは、保育園の子ども達の姿で心が癒されます。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>リビングや廊下にイスを用意し、ご利用者の皆さんがお好きな場所でお過ごしいただけるよう配慮しています。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ご入居前に、ご本人が使い慣れた家具や、身の回りの物品をお持ちいただくよう、お伝えしています。</p>	<p>それぞれの居室に窓があり、明るく外の景色を楽しむことが出来ます。使い慣れた家具などもお持ちいただき、落ち着いた過ごせる居室になっておられます。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>施設内は手すりがあり、バリアフリーになっています。物品もご本人が使いやすいよう配置を考え、車イス等でも自由に移動していただけるよう配慮しています。</p>		

V アウトカム項目			
56	職員は利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聞いており信頼関係ができている	○	①ほぼ全ての利用者と ②利用者の3分の2くらいと ③利用者の3分の1くらいと ④ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどいない

65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くない
66	職員は生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員からみて利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族が ②家族の3分の2くらいが ③家族の3分の1くらいが ④ほとんどできていない